

✿ 本店7F 画廊インフォメーション ✿

(最終日は16:30閉場)

—110年の時を越えて— オールドノリタケの世界展

4月26日(木)～5月2日(水)

明治中頃から西洋の国アメリカの日常に溶け込む商品として日本で製造、輸出。優れた技術力と芸術的テクニックが融合した作品として魅了し続ける「オールドノリタケ」の作品を一堂に展覧いたします。



「盛り上げ花鳥図花瓶」明治24年(1891年)頃作

—MUSIC BOX FAIR 2018— オルゴールの世界展

5月3日(木・祝)～5月9日(水)

オルゴール発祥の地、スイスで1865年に創業された老舗オルゴールメーカー『REUGE(リュージュ)社』。類稀なる職人の技術と伝統を今に伝え、紡ぎ出す癒しの音色をはじめ、「懐中時計」「シンギングバード」などを展覧いたします。



グノー生誕200周年限定オルゴール

襲名記念 九代 高橋道八茶陶展 【同時開催】道八代々作品展

5月10日(木)～5月15日(火)

2012年、父である八代目道八の跡を継ぎ九代目を襲名。歴代初の女性として日々作陶に精進。本展では茶碗、水指など新作を一堂に展覧いたします。

会期中作家来場



黒釉飛七宝茶碗

アンティークヨーロッパ名窯展

5月17日(木)～5月23日(水)

18世紀初頭、ドイツのマイセンはヨーロッパ初の磁器を誕生させ、フランスではセーブルガルイ15世の庇護のもと宮廷生活を飾る作品を生み出しました。本展では、優雅で華麗なアンティーク磁器を一堂に展覧いたします。



「マイセン昼と夜対(1890年頃)」
昼:H37×W16cm 夜:H35×W14cm

没後50年 藤田嗣治とパリを愛した画家たち展

5月24日(木)～5月30日(水)

エコール・ド・パリを代表する画家藤田嗣治(1886-1968)。晩年にはフランス国籍を取得しレオナルド・フジタと改名。パリで最も有名な日本人画家として愛され続けています。本展では君代夫人の元に遺された水彩や素描と共に当時制作された希少な版画作品、同時代に活躍した20世紀の巨匠たちの作品と併せて展覧いたします。



藤田嗣治『猫を抱く少女』リトグラフ

※内容は予告なしに変更する場合がございます。予めご了承くださいませ。